

ペットライフ

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp

獣医の

カルテ



54



やまむら動物病院長
(富山市中川原)
山田 武文

猫は家の中と外を自由に出入りし、残り物を分け与えられ、春になると子猫を産み、いつの間になくなっていく。ひと昔前はそんな認識だったかと思いますが、時代とともにその考え方も変わってきています。今回は猫を家の外に出すメリット、デメリットをお話ししたいと思います。

猫を外に出すこと



キャットタワーでくつろぐ猫

短い寿命 デメリット多く

妊娠し、結果的に飢えや病気で死んでしまう子猫が産まれる⑤他人の家の庭や敷地内で糞尿をして迷惑を掛ける。

他にも色々あるのですが、大まかな点はこれくらいかと思えます。もちろん上記のことは絶対起こるといっわけではありませんが、室内で飼っている猫の平均寿命が16歳なのに対し、外で飼って

いる猫は13・2歳と明らかに短いことが分かっています。

外で猫が死んでしまった場合、大半は看取ることができません。長年連れ添った猫の最期が消息不明というのも、あまり良いお別れの仕方とは思われません。うっかり外に出てしまった場合も上記のことに当てはまりますので、絶対に脱走させないでください。

満たせるぐらいでしょうか。デメリットと比べて少ないですね。運動不足に関しては、上下の動きができるキャットタワーを設置することである程度は解消できます。猫はトイレや寝床、爪研ぎなど必要最低限の設備があれば、狭い室内でもそれほどストレスなく生きていける動物といわれます。

性的欲求不満は今では一般的に

い。ベランダや庭に出すことも同様のリスクがあります。

メリットは①行きたいところに自由に行くことができ、運動不足になりにくい②交尾により性的欲求を